The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第72輯　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1999, 72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68949
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

刊行予定の日よりやや遅れたが、『語文』の第七十二輯がようやく刊行されることとなった。年に二輯の刊行は編集に携わっている助手・学生の方々にもいろいろ負担をかけることにもなるが、今後も守ってゆきたいと思っている。

本輯も国語学・国文学合わせて五編の論考を所収している。近年、私どものところに所属する留学生も次第に増加しており、『語文』にも留学生の手になる論考が載るようになってきている。今後一層の活躍が期待される。

文学部の大学院重点化により、文学部の構成もかなり変わった。私どもは文化表現論という専攻に所属することになった。これまでは、学部に大学院が加わるような形であったが、これからは大学院の文化表現論を中心とし、学部に出講する形となったのである。

このような改革に伴い、当然のことながら大学院の拡充が図られた。大学院の学生の増加も著しいが、将来の就職は大丈夫かという問題もある。私ども教官も意識を改める必要があろうが、学生諸君も良い成果を挙げ優れた論文をまとめるように頑張ってもらわねばならない。『語文』は学生の研究成果を示す場という面をも持っているのであり、これまで以上に良い論文を数多く載せてゆく努力が必要である。もちろん、『語文』の評価を一層高めてゆくことが必要であり、先輩の方々にも格段の御力添えを期待している。

（前田富祺）

語文　第七十二輯

平成十一（一九九九）年五月二十五日　印刷
平成十一（一九九九）年五月三十一日　発行

編集・発行者　大阪大学国語国文学会
〒560-8532　大阪府豊中市待兼山町一―五
大阪大学大学院文学研究科
国語学国文学研究室
代表　伊井春樹
振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一
電話　〇六―六八五〇―五一一一

印刷　天理時報社